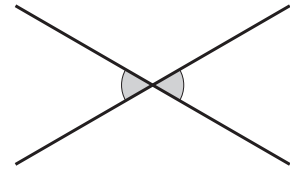
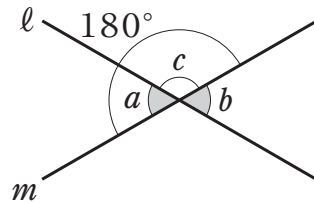


- 8** ある学級で、「対頂角は等しい」ことの証明について、次の①、②を比べて考えています。

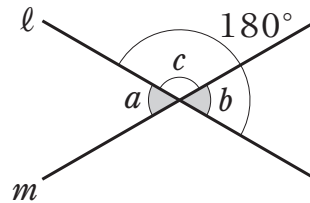


①

下の図のように直線 ℓ と直線 m が交わっているとき、



$$\angle a = 180^\circ - \angle c$$



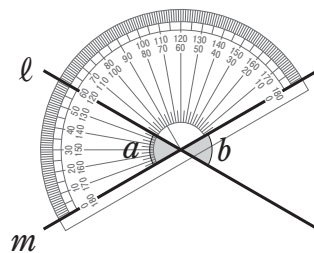
$$\angle b = 180^\circ - \angle c$$

よって、 $\angle a = \angle b$

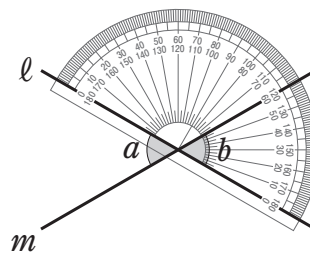
したがって、対頂角は等しい。

②

下の図のように直線 ℓ と直線 m が交わっているとき、
2つの角の大きさをそれぞれ測ると、



$$\angle a = 60^\circ$$



$$\angle b = 60^\circ$$

よって、 $\angle a = \angle b$

したがって、対頂角は等しい。

2つの直線がどのように交わっても「対頂角は等しい」ことの証明
について、正しく述べたものが下のアからオまでの中にあります。
それを1つ選びなさい。

ア ①も②も証明できている。

イ ①は証明できており、②は2つの直線の交わる角度をいろいろ
に変えて同じように確かめれば証明したことになる。

ウ ①は証明できているが、②は2つの直線の交わる角度をいろいろ
に変えて同じように確かめても証明したことにはならない。

エ ①も②も2つの直線の交わる角度をいろいろに変えて同じよう
に確かめれば証明したことになる。

オ ①は2つの直線の交わる角度をいろいろに変えて同じように確
かめれば証明したことになるが、②はそれでも証明したことには
ならない。